

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **うどんこ病**の発生はやや少ないです。
- ・ **アブラムシ類**、**ハダニ類**、**アザミウマ類**の発生は平年並です。

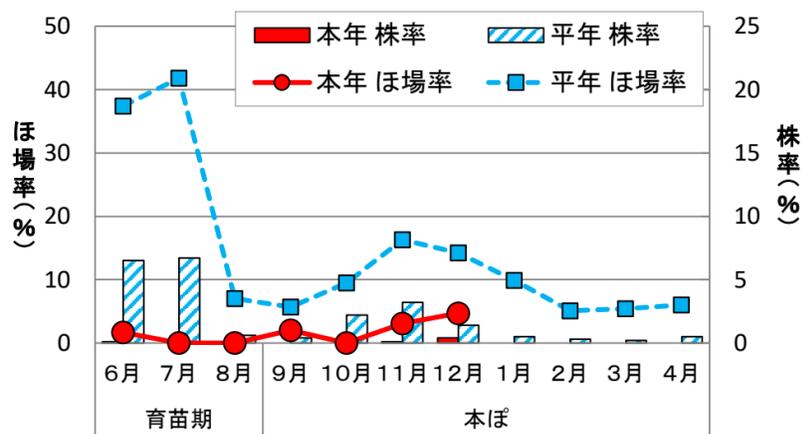


図1 うどんこ病発生ほ場率・株率

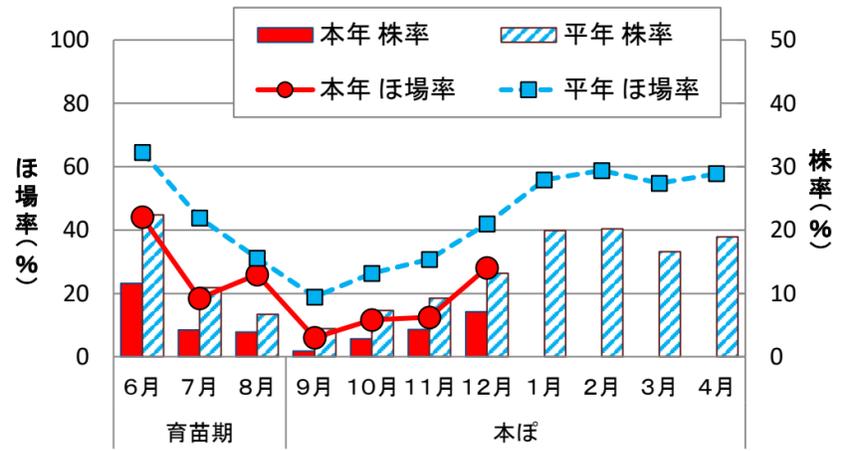


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

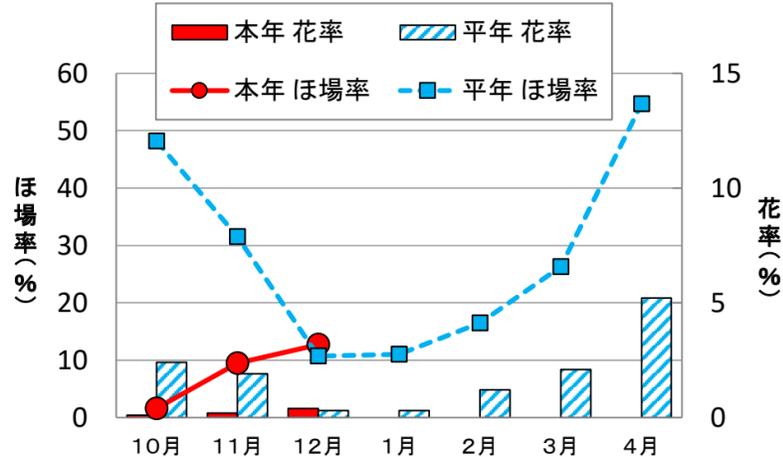


図3 アザミウマ類(花)発生ほ場率・花率

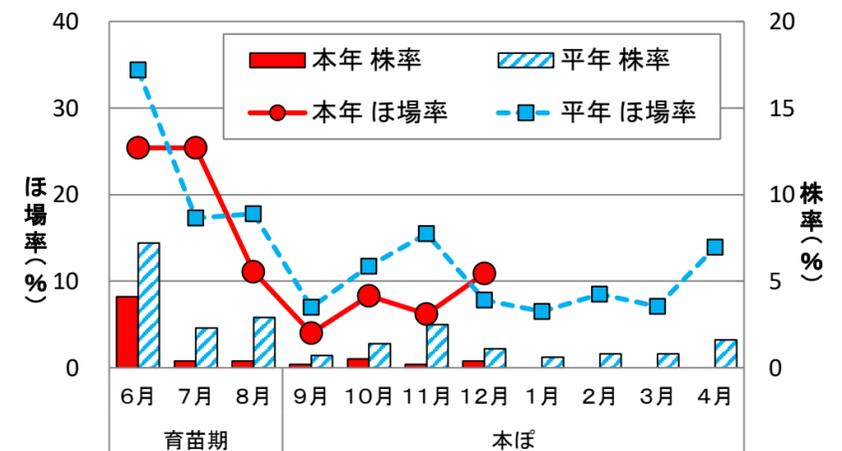


図4 アブラムシ類発生ほ場率・株率

○今月の技術情報（技術指導班）○（12月）

・いちごの生育は、「とちおとめ」「スカイベリー」とも、花房間葉数の増加に伴う一次腋花房の出蕾遅延や、ここ1か月の日照不足による生育遅延のため収穫の谷が見られます。

・一方、一次腋花房のガク焼けや展開葉のチップバーンは平年よりも少ない傾向です。

・病害虫は、灰色かび病、菌核病の発生が目立ちはじめ、ハダニ類の発生は平年並、うどんこ病、ヨトウムシ類、チャノホコリダニの発生は一部で散見されます。

・ハウス内の湿度が高まりやすい時期なので、一時的な強制換気や循環扇、暖房機の空運転等により除湿に心がけましょう。

・1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は平年並～多く、日照時間は少ない～平年並と発表されております。適切な温湿度管理及び施肥管理を行い品質の高いいちご生産を心がけましょう。



写真1 ナミハダニ成虫(左)と幼虫(右)

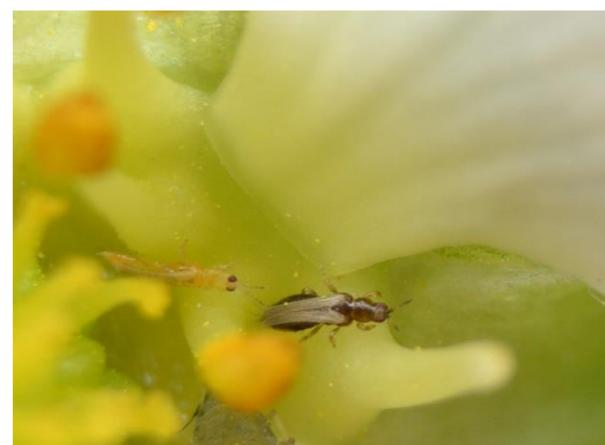


写真2 花に寄生するヒラズハナアザミウマ